

様式例 10 指定管理者制度活用事業 評価シート

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市緑化センター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人 川崎市公園緑地協会 ・代表者名 理事長 篠田 隆志 ・住所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	みどりの企画管理課長
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課

2. 事業実績

利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入園者数調査を4、7、2月の平日と休日にそれぞれ1日ずつ実施 4月16日(水)353人、4月20日(日)473人、7月23日(水)160人、7月19日(土)155人、 2月19日(水)357人、2月14日(土)364人 ⇒ 平日平均(290人)、土日平均(331人) 年間約11万1千人 (平成25年度:5月9日(木)490人、5月5日(日)805人、7月23日(火)243人、7月28日(日)335人、 2月26日(水)328人、2月22日(土)390人) ・緑化センターまつりでは、約6,923人の来場者を集めた。 ・講習会は合計31講座行い、受講者数は1,174名であった。(平成25年度:34講座、受講者数1,064人座) ・緑化相談は総件数862件(平成25年度:653件)、内容は栽培管理、病害虫についてであった。
収支実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の収入 指定管理事業収入 47,706,000円(平成25年度:46,680,000円) 自主事業収入 1,331,387円(平成25年度: 465,501円) その他の収入 2,693円(平成25年度: 2,473円) 計 49,039,223円(平成25年度:47,147,974円) ・平成26年度支出 事業費 11,953,773円(平成25年度:13,066,091円) 管理費 31,864,730円(平成25年度:34,162,803円) 計 43,818,503円(平成25年度:47,228,894円) <p>当期収支差額は5,220,720円(平成24年度:△80,920円)であった。</p>
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回緑化センターまつりの企画・運営を行い、現年度対比で約1,700人増となる延べ6,923人の来場者を集め、多摩区の魅力アップに貢献、また市内で活動するボランティア団体の活動状況をパネルで展示し、啓発活動に貢献した。 ・NHK趣味の園芸テキストを蔵書に加え、また検索しやすく整理するなど図書環境の充実を図った。 ・老朽化が進んでいた見本園(日本庭園)の改修リニューアルが完了した。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	1 利用者満足度調査を適切に実施しているか	12	4	9.6
		2 調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	(評価の理由) ・「ご意見箱」には、52件の意見が寄せられた。これらの意見・要望については、「年間の行事予定がわかりやすい」や「つばき展での種類の多く、とてもきれい。季節ごとに楽しみたい」等、概ね好意的な意見である。 ・老朽化が進んでいた見本園(日本庭園)のリニューアルが5月に完了した。				
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	3 計画に基づく適正な支出が行われているか	8	3	4.8
		4 支出に見合う効果は得られているか			
		5 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
適切な金銭管理・会計手続		6 収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	6	3	3.6
		7 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
	(評価の理由) ・委託料については外部発注により対応予定していた業務について一部を職員自らがを行い、また修繕費については見本庭園を昨年度に引続き、造園関係者の研修の場とすることで経費削減に努めた。 ・原材料等においても本部により調達した資材を用いて対応することで、山草棚の補修を行うなど、経費削減に努めた。				

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	8 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	8	4	6.4
		9 サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		10 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	11 実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	6	4	4.8
		12 業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		13 業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	14 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4
		15 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
		16 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	提案事業・自主事業の実施状況	17 施設利用者へのサービス向上につながる提案事業・自主事業を実施しているか	10	5	10
18 施設利用者のニーズを踏まえた提案事業・自主事業を実施しているか					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の回数は前年度の34回を下回る年31回の実施だが、受講者数は前年度よりも100人以上多い1,174人と水準以上の取り組みをしている。 ・展示会において改修により撤去された山野草コーナーについて、利用者アンケートにより惜しむ声があったことに対応し、翌月に展示を再開するなど市民意見を反映した環境づくりに努めている。 ・展示会の開催数及び開催期間については、空白期間を少なくするため、次の展示会まで空白期間が長い時期に臨時で展示会(3回)を開催している。展示会の開催数についても前年度の18回よりも5回多い年23回(324日間)開催している。 ・緑化センターまつりについては市民意見を反映させるため、様々な団体が構成する「緑化センターネットワーク会議」における意見を集約し、実施計画を取りまとめ、前年度よりも約1,700人多い約7,000人の来園者を集め、地域振興、施設のPR等、大きな役割を果たしている。 ・利用者への車いす、乳母車の無料貸出や、ボランティア団体に対しての会議室の無料貸出等のサービスを継続して行っている。 ・新たな園芸に関する蔵書を加え、また検索しやすい閲覧環境に努めている。 					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適正な人員配置	19 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4
	連絡・連携体制	20 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	2	3	1.2
	再委託管理	21 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか	2	3	1.2
	担当者のスキルアップ	22 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	2	3	1.2
	安全・安心への取組	23 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	3	2.4
	コンプライアンス	24 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	2	3	1.2
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所管課との連絡・連携については、月例報告時に打ち合わせを行うなど、十分に行われている。 ・講習会の応募者などの個人情報を保管庫に施錠して保管するなど、情報の取得の段階から、その利用、保管、廃棄にいたるまで適切に管理されている。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	25 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8
	樹木、草花及び種苗の管理	26 樹木、草花及び種苗を適正に管理しているか また、収集、保存、展示に努めているか	6	4	4.8
	施設更新計画	27 長期保全更新計画を立て、市へ報告しているか。	2	3	1.2
	清掃業務	28 施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	4	4	3.2
	警備業務	29 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	4	3	2.4
	外構・植栽管理	30 外構・植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか	2	3	1.2
	備品管理	31 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	2	3	1.2
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園者の通行に支障となる雨水溜まりを防ぐため、園路の排水不良の補修を行った。 ・樹木、草花及び種苗に関しては、仕様書以上の水準で管理を行うとともに、虫巢の早期発見による切除等の対応を行い、農薬に頼らない管理を目指し、環境にも配慮している。 ・天候の急激な変化にも対応するため、機器任せにせず、職員において温度管理を実施している。 ・園内の日常清掃等は仕様書以上の頻度で実施されている。 					

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>市内唯一の都市緑化植物園として、都市緑化の推進を図るという事業目的を達成するために、仕様書を上回る水準で園内の維持管理を行うとともに、市の事業である「川崎市みどりのカーテン大作戦」に協力し、ゴーヤの苗を提供(2,920ポット)や、「市民100万本植樹運動」用に樹木苗を育成、提供(400本)するなど、本市の緑行政にも貢献した。</p> <p>また、市民意見を反映させるため、様々な団体で構成する「緑化センターネットワーク会議」を開催し、地域と連携しながら緑化センターまつりを実施し、昨年度を大幅に上回る来場者に参加していただくとともに、植物の展示会開催数の増加や要望の多い題材を取り入れた講習会の実施等、サービスの向上と本市及び多摩区の魅力向上に大きく貢献した。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>・経費の支出について消耗品費、印刷製本費及び原材料費については、経費削減のため本部用品を使用することで経費削減に努めたが、次期指定管理者による管理運営については経費削減による経費を、更なる市民サービスの向上に繋がる執行に取組むことが望まれる。</p>
--